

第4回 ねごろ医用実学研究会講演会

アンケート集計結果

生徒・学生 Q1~Q10

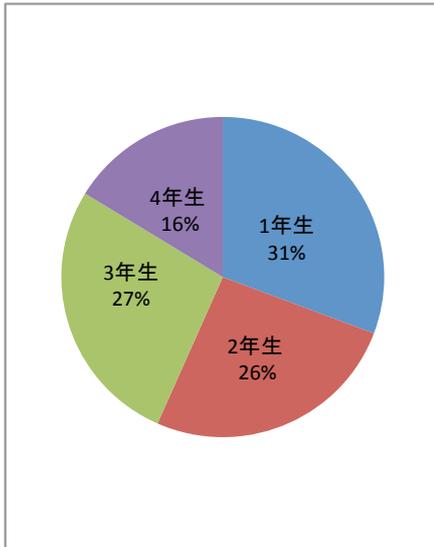
生徒・学生 Q11

生徒・学生 Q12

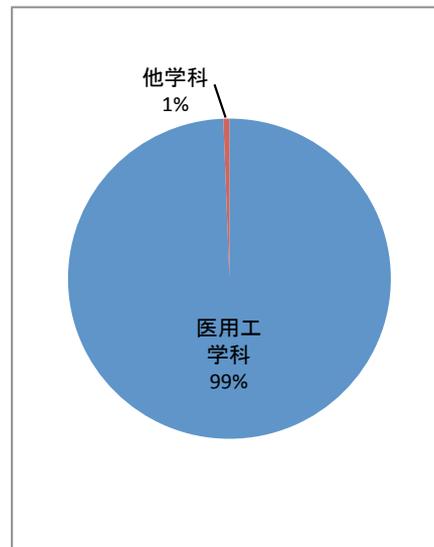
一般 Q1~Q8

第4回ねごろ医用実学研究会講演会 アンケート集計結果【生徒・学生用】

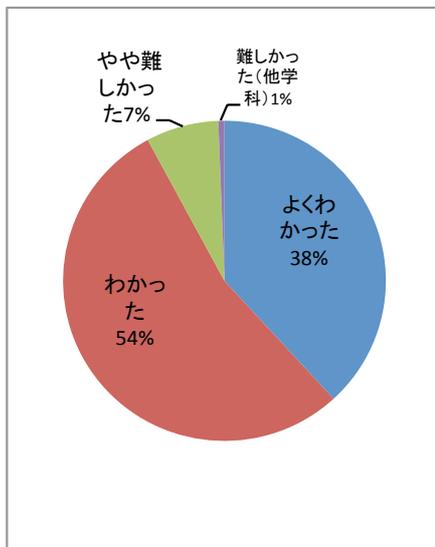
設問①学年は？(回答者はすべて大学生)



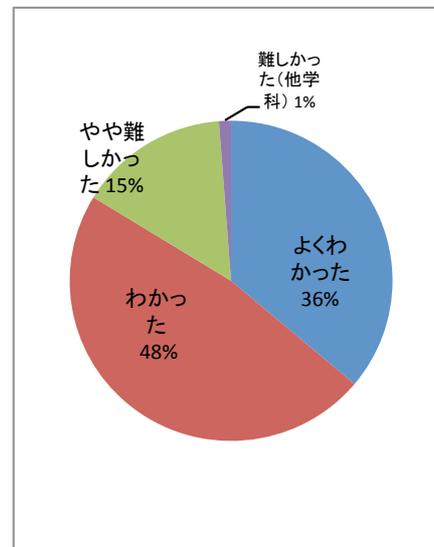
設問②所属は？



設問③ニプロ太田氏の講演について

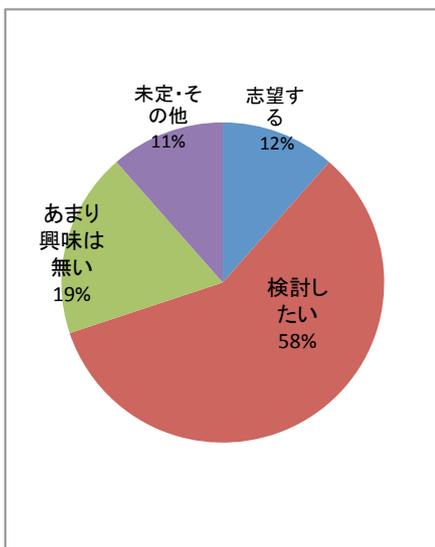


設問④旭化成宮川氏の講演について

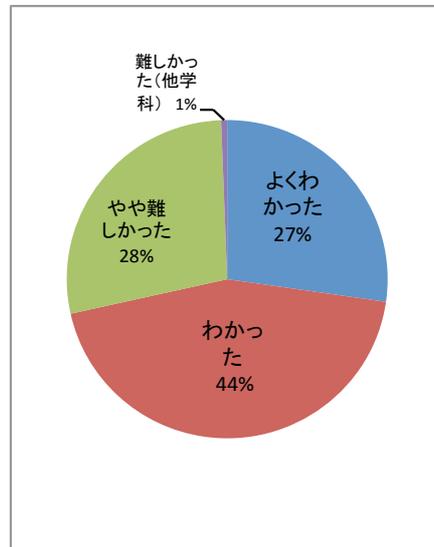


設問⑤【医用工学科学生のみ回答】

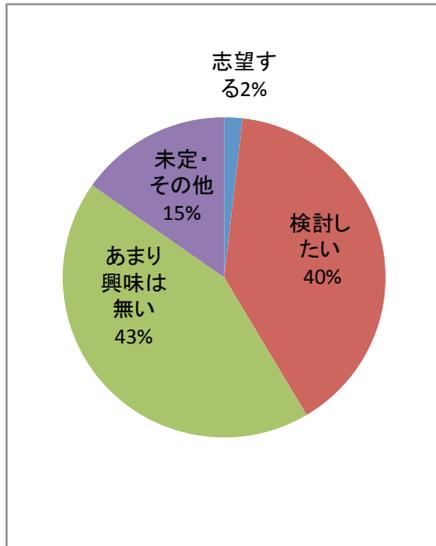
就職先として企業は希望する？



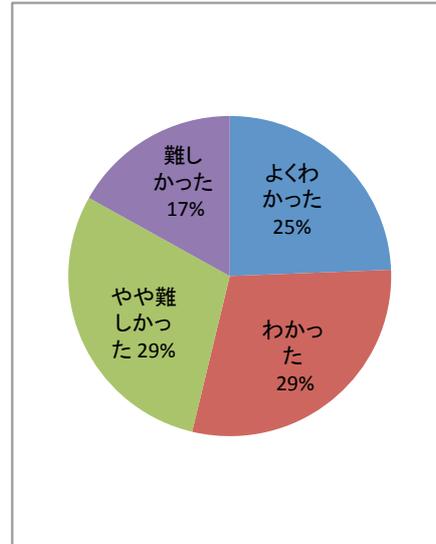
設問⑥PMDA武内氏の講演について



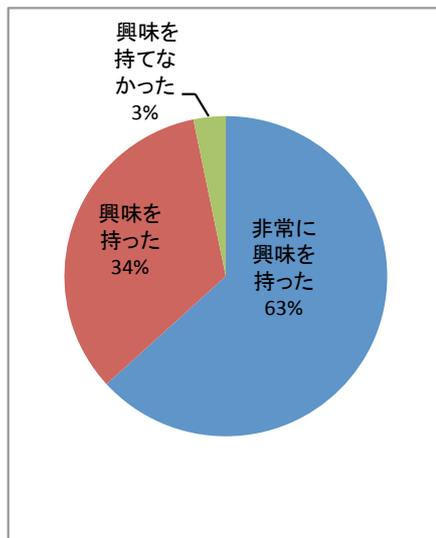
設問⑦【医用工学科学生のみ回答】
就職先として行政は希望する？



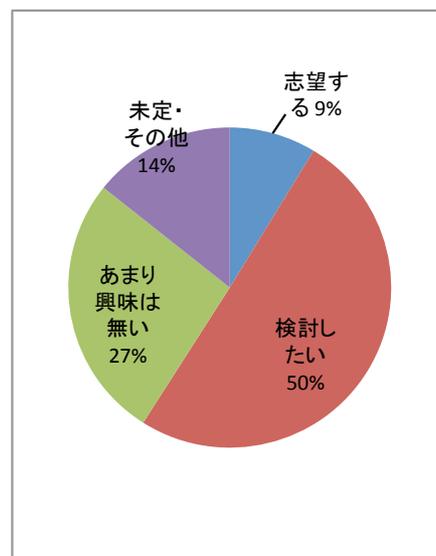
設問⑧峰島先生の講演について



設問⑨臨床工学への興味



設問⑩【医用工学科学生のみ回答】
就職先として大学や研究機関は希望する？



第4回ねごろ医用実学研究会講演会 アンケート集計【生徒・学生用】

学年	設問① 臨床工学技士の業務について、この講演会で初めて知ったことは何ですか？
1年生	<p>PMDAの存在と、そこでのMEの役割など。企業や研究開発でのMEの存在・役割など。(意見の交換やニーズの見極め方など)</p> <p>研究職にいく人が少ないのは、教育があくまで病院で働くことを想定しているから・・・というようなこと。</p> <p>行政にも臨床工学技士がすくなくからず関わるかもしれないという事。</p> <p>臨床工学技士の企業において、どのように役立っているかなど。</p> <p>病院だけでなく、企業やその他にも広く業務があることを知りました。</p> <p>行政の医療機器の審査などやデバイスラグが起きる原因を知ることができた。</p> <p>臨床工学技士の業務は意外と幅広いことを知って、選択肢が広がってよかった。</p> <p>臨床工学技士の活躍の場は、医療機関などの病院だけだと思っていたが、様々な多様性があることを知った。特に、PMDAという言葉を知った。</p> <p>現在の透析技術はすごくよくなっている事を改めて知ったが、やはり本物の腎臓に比べるとまだまだという事がわかった。</p> <p>企業には臨床工学技士は少ないという事。</p> <p>臨床工学技士の任される業務が私の知っていたのより多かったです。</p> <p>臨床工学技士は、企業か病院だけで就職を考えていたが、行政の就職もあることを知りました。</p> <p>臨床工学技士が作った後の医療機器を審査しているという事は知らなかったです。</p> <p>病院ではなく、企業での仕事について初めてよく知った。</p> <p>PMDAという仕事があること。工学の重要性。</p> <p>企業では、臨床工学技士の工学知識では役に立たない事を、学生である今、知ることができたので、学生の間で学ぶ事のできる工学をしっかりと学んでいきたいと思います。</p> <p>臨床工学技士が企業でも十分活躍できるという事です。また、普通の臨床工学技士ではなく、何か得意なことを持つことです。</p> <p>病院以外での詳しい業務内容について。</p> <p>企業での医療機器の保守・点検について。</p> <p>臨床工学技士の職域が行政にも広がっていて、役人の立場から医療機器の承認もあることを知りました。</p> <p>企業での業務で営業はあると考えていたが、研修講師も行うのが驚きました。</p> <p>幅広い就職先があり、それぞれ異なった世界で働いているように見えるが、医療・工学の分野を基礎としている部分は変わらない。自分が望む就職先を見つけなければならないと思った。</p> <p>新しい機械が出来る毎に機械の説明会や国の承認など、企業はいろいろと忙しいことを初めて知りました。</p> <p>臨床工学技士にとって、企業や行政の部門が病院と同等もしくはそれ以上の業務を持っている事を意外に思った。</p> <p>医用機器開発における評価。</p> <p>臨床工学技士の業務の範囲の広さ、医学と工学の両方の知識を有する臨床工学技士のニーズの多さがわかりました。</p> <p>現場経験に基づく医療機器の開発や改良です。医療機器のみの知識だけでは、ユーザー人数やニーズを知ることができないので、やはり現場での経験は大切だなと思いました。</p> <p>常に患者の事を考えて行動する必要があるということ。当たり前のことですが、研究したりしていると忘れてしまいがちなかもしれません。</p> <p>企業と行政と臨床がひとつながりになっていること。企業で臨床工学技士がどれほど必要とされているかということ。</p> <p>病院だけではなく企業や行政機関へ行ける。</p> <p>企業で工学技士はそんなに働いていない。</p> <p>透析に関して日本は非常に進んでいることを初めて知りました。工学の基礎を勉強する。臨床は、企業に入ってからでも学ぶ事はできる。</p> <p>PMDAや企業の特徴について知ることができた。</p> <p>企業内で研究・開発の分野にだけでなく、様々な部署に所属していること。自分が知る企業内にも臨床工学技士がいること。</p> <p>臨床工学技士の企業での立場。</p>

第4回ねごろ医用実学研究会講演会 アンケート集計【生徒・学生用】

学年	設問①
	臨床工学技士の業務について、この講演会で初めて知ったことは何ですか？
	<p>企業に臨床工学技士が少ない。透析はいずれなくなる。</p> <p>幅広さ。</p> <p>透析患者の増加する割合が少なくなっていること。</p> <p>臨床工学技士は病院のみでなく、企業や行政などで幅広く活動ができることを知った。企業の中にもいろいろと分野が分かれていて、それによって内容が異なることも知った。</p> <p>医療機器開発に携わる人の中に、有資格者がとても少ないということを初めて知り、とても驚いた。</p> <p>病院や医療機器メーカー以外にも、MEの知識があることで有利になる点が多々あるという事。特に、行政という観点で将来の道考えた事は無かったので、視野を広げ可能性を広げていきたい。</p>
2年生	<p>臨床工学技士において大切なのは工学であるという事。臨床工学技士のアイデンティティは工学であり、そこをしっかり学ぶことで医用工学としての職域を広げることになるという事。</p> <p>行政の分野へも進めることが分かった。企業へ就職した際の詳しい話も聞いた。</p> <p>PMDAという組織があること自体知らなかった。機器の操作や保守点検以外にも講義等の仕事もあるという事を初めて知った。</p> <p>臨床工学技士は、病院と企業だけで活躍するものと思っていたのですが、行政などでも活躍できるという事を初めて知った。いろんな場所・場面で活躍できるものだなあと思った。</p> <p>企業における重要性。PMDAにおける審査について。</p> <p>海外製の医療機器について初めて考えた。元々、海外で働きたいとも思っていたので、海外で働いている人がいると聞いてうれしかった。</p> <p>企業での業務は機器開発だけでなく、他にも様々な業務があることがわかりました。そして、どの業務においても臨床工学技士として幅広い知識を持つておくことの重要性を改めて知りました。</p> <p>臨床工学技士としてのこれからの道はたくさんあるんだということを知りました。</p> <p>臨床工学技士の仕事として、医療機器審査という仕事については初めて聞くことができたのでよかったと思います。</p> <p>ほとんどは知っている事であったが、「企業」と一言にまとめられているものの詳しい業務内容を知った。また、行政機関については新しく知ることが多かった。</p> <p>行政機関でも働けるということ。</p> <p>医療機関で働くより先に工学を修めることも重要なことの1つであるということが分かった。</p> <p>企業における臨床工学技士。</p> <p>透析に代わる新しい治療機器開発が必要であること。治療機器の原理をしっかり理解するために、工学を勉強する必要があること。</p> <p>就職先に行政があることは知らなかった。</p> <p>臨床工学技士が病院や企業だけではなく行政(医療機器審査等)でも必要とされていること。</p> <p>透析患者がこれから年々増加して、臨床工学技士の働く場面が増えると考えていたが、大学を卒業して約40年も働くにあたって、人口の減少とともに減っていくかもしれないということを知りました。</p> <p>生体腎と人工透析での異物の濾過率が、人工透析の方がかなり低い事。</p> <p>未来の眼から見た医療機器と、臨床工学技士が活躍するようになるまでの背景と裏の努力、また、医療機器の開発研究だけでなく、その審査においてまで知ることができました。</p> <p>工学の大切さをさらに認識した。</p> <p>いろんな分野で働いていることがわかった。</p> <p>PMDAについて。</p> <p>企業で働いている臨床工学技士が、想像していたよりも非常に少なかったこと。企業で働く臨床工学技士の仕事内容、また、医療機器を審査する職があるということとその内容。</p> <p>行政にMEの需要があること。企業におけるMEの業務。</p> <p>行政にもMEの需要があることを初めて知りました。</p> <p>臨床工学技士が医療機器審査等の行政に関わることもあるのだということを知りました。</p> <p>病院・企業以外にも就職先として行政があるということ。</p> <p>医療機器審査等のような行政の仕事。</p> <p>業務としては、行政(医療機器審査等)のような医療機器の審査があること。</p>

第4回ねごろ医用実学研究会講演会 アンケート集計【生徒・学生用】

学年	設問①
	臨床工学技士の業務について、この講演会で初めて知ったことは何ですか？
	行政での臨床工学技士の役割。
	工学分野の重要性。
3年生	企業に勤められている臨床工学技士の方々が、思ったより開発を直接行っておらず、講演などを通じて開発・研究につなげていると知った。
	企業で臨床工学技士の働いている人数が少なく驚きました。
	人工腎臓の必要性や、それを開発することの難しさを知りました。
	思っていたよりも臨床工学技士を必要としている場や活躍できる場は多いと感じた。なぜ、臨床工学技士が役に立っているのかという根本的なところを知れた。
	透析において人の手がいらず、自動化が進んでいること。
	医学よりも工学をより学習することが重要であること。
	企業の経理部や人事部系にも臨床工学技士がいた方がよりよいということ。企業においては、開発や販売促進くらいしか活躍の場がないと思っていたので、まだ、発展途上の職業であるというのを知っていたが思っている以上であった。
	企業において、臨床工学技士の役割(活躍する場)が、開発などの分野にのみだと思っていたが、企業においてもすべての分野で活躍できるということ。医療の知識が広い範囲で必要であるということ。
	研究・開発部門にはなかなか配属されないということです。実際に、就職活動をしている同学科生が、希望している開発部門ではなく、病院で説明したり修理したりする部門になりそうとの事を聞いていたので、背景を知れたのはとても大きかったです。
	海外と国内の医療機器審査の基準。
	様々な分野で働くことができるチャンスがあること。
	臨床工学技士が透析関係以外の機器の開発・研究を行うことができること。
	医療機器の審査という業務は初めて知りました。
	企業の場合、どの部門でも仕事ができることを知りました。
	企業で働く臨床工学技士は開発部門が大半だと思っていましたが、全く関係のない経理などの部門でも必要とされつつあることに驚きました。臨床工学の知識の活かし方は様々であることがわかりました。企業で活躍すると、患者さんとの距離が遠くなるような気がしてさみしく思ったりもします。
	企業での業務。企業にある多数の部門で働いていること。
	I-HDFの研究に関して。生体細胞を組み合わせたダイアライザに関して。
	企業内の技術開発の方では、主体的に参加するよりも、医療機関等で得た意見や改善点等を正しく伝えることを行う重要なポジションでもあること。
	海外からの研修者に対しても講習を行うこと。PMDAの審査を行う機器の分類と基準。
	PMDAでリスクに応じて分類・規制されていること(医療機器)。様々なハプニングや排液などから患者さんの状態を知れるようにモニタリングできること。
	臨床工学技士は工学の知識が不安定であることで、企業の就職で他の工学部の人たちに劣っていると知った。
	企業では、販売・営業での業務が多く、研究・開発での業務が少ないことを知らなかった。
	開発系の業務よりも、営業の業務の方が多く、企業で開発の仕事に就くことがあまりないこと。
	限界が存在しないことがわかった。
	日本と外国では翻訳による医療機器のタイムラグが生じる。
	多くの就職先があること。臨床工学の分野では、工学を重要視した方が良いように感じた。
	PMDAの存在。
	未来の機器やダイアライザのことも開発している。
	PMDAでは、臨床工学技士が医療機器審査に関わっているということを初めて知りました。
	臨床工学技士の企業における立ち位置。人工透析の未来の状態。
	PMDAという行政への道があることを知った。
	企業での臨床工学技士の割合が現在低く、本当にMEの企業の参加がこれから盛んになっていくのだと感じた。
	想像していた以上の仕事の種類があること。視点の違いによる臨床工学技士の立場。

第4回ねごろ医用実学研究会講演会 アンケート集計【生徒・学生用】

学年	設問①
	臨床工学技士の業務について、この講演会で初めて知ったことは何ですか？
	臨床工学技士の企業において求められる点や、なぜ企業がCEを必要としないのか。また、今後どのような開発が求められるか。
	企業に入って何でもできる。
4年生	企業での臨床工学技士の仕事の種類。
	臨床工学技士の業務は、企業の中にもさまざまな部署があり、その中で臨床工学技士の活躍の場が幅広くあることを知った。また、医療機器審査官等の行政の場にも仕事があることを知った。
	臨床工学技士の資格を持つ企業で働いている方が、思ったより少数だと思ったこと。
	ICUに当直で点数が出る。
	自分に問題提議すること、工学的知識を持つことを改めて勉強した。
	日本アフェレンス学会の研修担当で、人材育成もできるということ。
	人工腎臓、人工糸球体は、現代の材料では作れないこと。
	行政という就職先を考えることができること。
	武内先生のように、審査専門員としても活躍できることを知った。
	臨床工学技士は臨床や工学だけではなく、審査の部門でも活躍できるという事。
	臨床工学技士は、ただ病院にいくだけではないと考えました。
	人工腎臓の現状とナビゲーションシステムなど。
	企業に就職する人もいるということ。
	新しい技術。企業の臨床工学技士の少なさ。
	工学の重要性。
	PMDAへの具体的なイメージがわくようになった。
	企業における有資格者の役割。今後の活躍の場も多く、期待が持てるということが具体的に分かった。
	工学の基礎が重要となっていくという話が興味深かった。
	企業に就職した人、臨床工学技士全員が開発できる訳ではないこと。

第4回ねごろ医用実学研究会講演会 アンケート集計【生徒・学生用】

学年	設問⑫ その他、ご意見やご感想、今後聞きたいテーマなど。
1年生	<p>現場での経験を積み、なおかつ、企業や研究機関で活躍している方のお話をもっと聞きたい。今日の講演は、1年生にとってはやや難しい話でしたが、貴重な経験になりました。</p> <p>臨床工学技士の資格を持ちながら、まったく関係のなさそうな分野に進んだ人の話も聞いてみたい。(医療に関係ない分野という意味で)</p> <p>今後の自分の将来について、とても良い参考になって、すばらしい体験になったと思った。</p> <p>自分の思っていた臨床工学技士の、また異なった面を知れて良かったと思います。</p> <p>教科書では知り得ることが出来ないようなことを知ることができてよかった。最後の講演では、医療の技術に加えて工学の重要性を教えてもらえることができてよかった。</p> <p>すごい先生達の話聞いて良かった。来年も再来年もこの講演会をしてほしい。そして、今回の講演会でより一層の勉強が必要だとわかった。</p> <p>今回の講演を聞いて、社会での臨床工学技士の大切さを知った。人に貴重とされる存在となるためにも、一層の勉強に対する励みが必要となると思った。</p> <p>めったに聞く事が出来ない貴重な話を聞いてとても良かったです。</p> <p>設問⑪にも書きましたが、どの先生も「職域の拡大」という事を言っていたのに、強く刺激を受けました。</p> <p>難しい話が多かったが、ためになる話も多くありました。自分の就職や今後についても考えてみたいと思いました。</p> <p>ためになる話をたくさん聞く事が出来て、とても良かった。</p> <p>この講演会に参加させて頂けて、これから2年生になる上で、自分がどのように頑張らなければならないか、イメージを作ることができました。ありがとうございました。</p> <p>臨床における職域の拡大はあるのか。例えば、注射など。</p> <p>知識が足りないのですごく難しかったです。しかし、興味があることもありました。いつか話がわかるように勉強していこうと思いました。工学分野が苦手ですが、峰島先生の講演を聞き、頑張ろうと思いました。</p> <p>今と昔の医療機器の違い、病院での臨床工学技士の立場など。</p> <p>臨床工学を実際に経験(例.手術や透析など)している人の話をききたいです。</p> <p>今回の講演を聞く中で、分からない単語・話があったので、もう少し勉強した上でもう一度聞きたいと感じた。</p> <p>特にはありません。</p> <p>質問者数がバラバラだったので、質疑応答の時間を明らかにすべきなのではと思いました。</p> <p>医療機器がより高度化してしまうと、私たち臨床工学技士はどうなっていくのか。代謝系。循環系に分かれているが、将来的に臨床工学技士の職種もさらに細分化されるのでは？</p> <p>企業の方や先生の話はどれも初めて聞くことばかりでとても面白かったです。</p> <p>1年生は、具体的にどのようなことがCEとして企業やその他の機関で活用できるのかわからないというのが本当だと思う。しかし、今回の会では具体的な解を知ることができたように思える。</p> <p>海外で働く臨床工学技士がいることを聞いたので、その人たちの話を聞いてみたい。⑪にも書いた通り、様々な場所で活躍していることを聞いて、企業に就職する際の選択肢が広がった。</p> <p>用語が難しくあまり理解できなかった。ちゃんと勉強してから講演会に参加したかった。</p> <p>バイオ系を使った医療機器。</p> <p>内容が少し難しかったが、臨床工学技士の業務については少しわかった。</p> <p>研究・開発について聞いてみたい。</p>
2年生	<p>色々な職種の方のお話を聞いてとても刺激されました。病院以外での技士としての仕事についてのイメージがとてもわかりました。今日のお話を忘れないで今後の学習につなげていきたいと思えます。</p> <p>これからの学習意欲を高めることができたし、将来への不安をなくすためにも頑張ろうと思った。そして、医療と工学のプロとして知識を身につけたいと思いました。</p> <p>もう少し詳しい仕事内容や研究内容が聞きたかった。</p> <p>難しいお話もありましたが、たくさんの貴重なお話を聞くことができてよかったです。</p> <p>工学分野についての重要性を認識できたので良かった。次回の講演会では、内容についてさらに理解できるように勉強しようと思いました。</p> <p>今回の講演で、自分の将来への道が広がったような気がします。卒業まであと2年ありますが、しっかり考えていきたいと思えます。</p>

第4回ねごろ医用実学研究会講演会 アンケート集計【生徒・学生用】

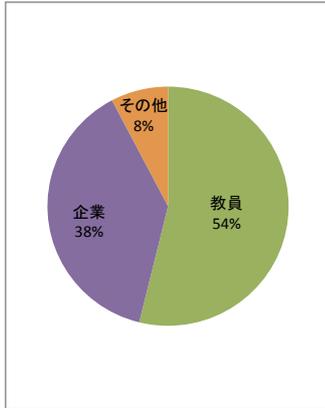
学年	設問⑫ その他、ご意見やご感想、今後聞きたいテーマなど。
	<p>このような講演会によって、自分自身、刺激を受けるので、また開催してほしい。</p> <p>企業内の臨床工学技士の業務についてもっと詳しく知りたいです。</p> <p>今回の講演を聞いて、大学院へ進むという選択肢が増えたので良かった。</p> <p>今後、臨床工学技士の活動の場面は病院内で変わっていくことがないのか。機器等の自動化によって、臨床工学技士のあり方がどのように変わっていくのか。</p> <p>研究・開発にかかわる立場として。主に研究者という企業とは少し異なっている立場の話を聞きたいと思います。</p> <p>やはり今までの科目の積み重ねが必要で重要になるだろうと感じた。</p> <p>臨床の話を知りたいなと思いました。</p> <p>貴重な講演をしていただき、為になるような話ばかりだった。努力します。</p> <p>人工臓器というものについて興味がわいたので、もう少し詳しく聞きたいと思った。</p> <p>MEにとっていかに工学が大事であるかを改めて学んだ。</p> <p>企業がMEに求めるものが少しわかったように思います。</p> <p>貴重なお話を聞くことができてよかったです。</p> <p>このような貴重な講演を聞くことができ、とても有意義で、特に、企業の仕事はどのようなものがあるかなど詳しい事までわからなかったが、今回仕事内容を聞くことができ、就職先として興味が持てました。</p> <p>企業又は研究機関での臨床工学技士をさらに詳しく知りたいです。</p>
3年生	<p>透析の将来性や発展、未来についてもっとお話しをお聞きしたいです。</p> <p>普段では聞けないような貴重な話を聞けてすごく為になった。</p> <p>臨床工学技士が確実に職に就くためには、どのような業務や研究・開発を行えばよいか。</p> <p>企業や工学博士の方々以外で実際に病院に勤務されている臨床工学技士の方々の現場でのことを聞きたいです。</p> <p>貴重なお話ばかりのとても有意義な講演会でした。このような機会を設けて頂いてありがとうございました。</p> <p>臨床工学技士の職域の広さを学ぶ事ができました。また、新しい世界(PMDAなど)に対する強い憧れを持ちましたが、実際、今の自分には目指すことのできない世界のような気がしました。複雑な心境です。</p> <p>日本の透析技術が海外からどのような評価を受けているか。アメリカでの腎移植の提供元がなぜ多いのか。腹膜透析の今後。</p> <p>本日は、来ていただいた皆様からそれぞれ大変貴重なお話を聞くことができて、とても良い体験をすることができました。</p> <p>ニプロさん、旭化成さん、PMDAさんがどのように研究をしているのかが知れて興味がわきました。峰島先生のお話は今後の新しい技術を紹介して頂き、臨床にいても何か作れることを知り、楽しそうだと思いました。興味がわきました。ありがとうございました。</p> <p>4回生では、国試対策だけでなく、工学部に負けないように工学の勉強を頑張ろうと思った。</p> <p>工学についての勉強が足りないと感じたので、基礎から勉強しなおしたい。</p> <p>今まで勉強で工業に関することは少なく、これから勉強したい。</p> <p>新しい技術の発見などの例から医療と工学の関係やそれによる進歩などを理解できたと感じました。</p> <p>様々な専門知識が聞けて良かった。</p> <p>企業だけでなく病院の話も聞きたい。</p> <p>患者のために、透析する時間も色々あるとわかった。</p> <p>臨床工学技士という職業は、今後いろいろな分野に発展していくことが重要で、私たちも努力していかないといけないと感じました。</p> <p>今後臨床工学技士として求められるものは何かを聞いてみたいです。</p> <p>院の重要性等。</p>
4年生	<p>講演会を聞き、将来さまざまな道があると思った。</p> <p>臨床の現場で、研究と臨床を両立されている方の講演。</p> <p>臨床工学技士として病院で働いている人が、大学院で修士を習得する方法や制度について。</p> <p>志を高く持って臨床工学技士として働こうと思える貴重な講演会だったと思います。</p>

第4回ねごろ医用実学研究会講演会 アンケート集計【生徒・学生用】

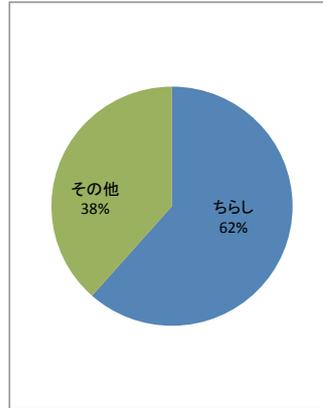
学年	設問⑫
	その他、ご意見やご感想、今後聞きたいテーマなど。
	臨床工学技士の業務について。
	臨床で働くにあたり、臨床工学技士は多様性か専門性どちらが重要なのか。
	今後もこのような講演会をよろしくお願いします。
	企業ごとの臨床経験を持っている人材が欲しいなどが知りたいと感じました。
	今まで、病院に就職することだけ考えていましたが、今日の講演を聞いて、企業への就職も考えてみようと思いました。

第4回ねごろ医用実学研究会講演会 アンケート集計結果【生徒・学生以外】

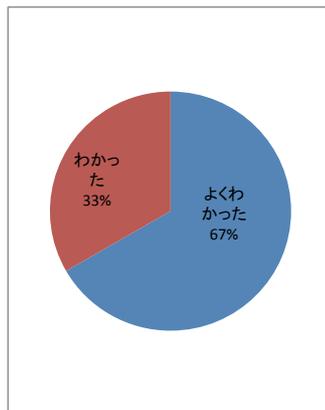
設問①職業は？



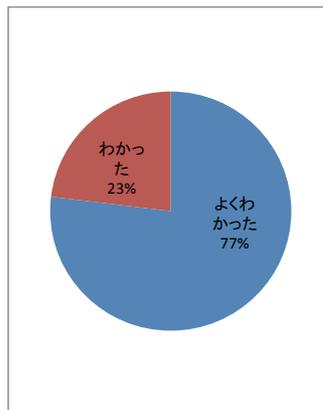
設問②講演会を知ったきっかけは？



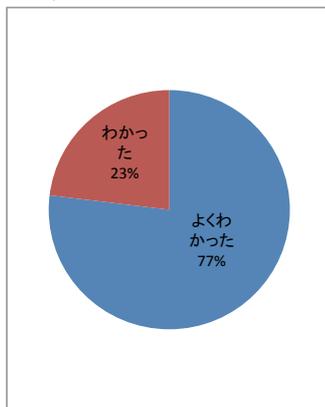
設問③ニプロ太田氏の講演について



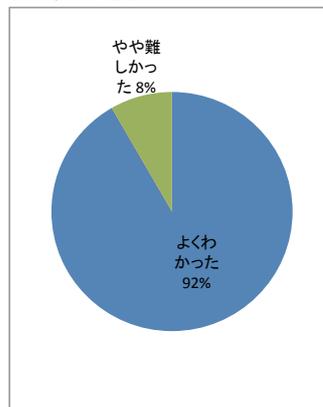
設問④旭化成宮川氏の講演について



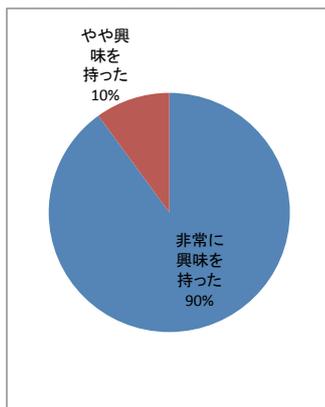
設問⑤PMDA武内氏の講演について



設問⑥峰島先生の講演について



設問⑦臨床工学への興味



設問⑧講演を聴いて興味を持った病院以外の業務は何ですか？

